

令和6年度第2回（第61回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 令和6年12月20日（金）

10時～11時30分

場所 浜田市役所本庁舎4階 講堂ABC

[進行／行財政改革推進課長、会長]

◆ 開会（10時00分）	
行財政改革推進課長	<p>ご案内しておりました時刻になりましたので、只今から、令和6年度第2回浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>委員の皆様には、本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は事務局を務めます、行財政改革推進課長の松山です。</p> <p>はじめに、この会議は公開で行いますので、ご承知おき願います。なお、本日はオンライン傍聴の申請はございませんでした。</p> <p>それでは、開会に当たり、光延会長からご挨拶をお願いします。</p>
1 あいさつ	
光延会長	<p>1年を振り返ると、7月の東京都知事選挙に始まり、衆議院選挙、兵庫県知事選挙がありました。来年度は浜田市長選挙もありますが、色々と民意を問うような年だったのかと思います。</p> <p>私の所感で言えば、ネットの時代となり投票率が上がっていると感じるので、このようなことが今後も続くのか注視していきたいと思っております。</p> <p>今日はそういう意味では多くの委員の皆様方に出席していただいておりますので、まさに民意を浜田市政に反映させていくという一端をこの会議で担って参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>本日お手元に、レジュメ、出席者名簿をお配りしています。また、先般、事前送付しました資料1、参考資料1、参考資料2を持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。資料がない場合においては、お持ちいたしますので、申出いただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、新任の委員1名をご紹介します。時間の都合上、名前の読み上げにより紹介させていただきます。</p> <p>レジュメの裏面、2ページの「浜田市行財政改革推進委員会 委員名簿」をご覧ください。</p> <p>名簿3番目、株式会社日本政策金融公庫 浜田支店長の小池 俊太郎（コイケ シュンカウ）様です。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>名簿7番の藤野（フジノ）委員、名簿13番の岡山（カヤマ）委員、名簿15番の石川（イシカワ）委員が所用のため欠席されています。</p> <p>次に、市職員につきましては、3ページに「浜田市行財政改革推進本部幹事名簿」を掲載しています。本日は、消防長と市長公室長が欠席しております。代</p>

	<p>理として、消防本部総務課長が出席いたします。</p> <p>なお、名簿の備考欄に“こめじるし”で記載のとおり、一部職員はテレビ会議システムにより参加しております。</p>
行財政改革推進課長	<p>それではここで、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認いただきます。</p> <p>前回は、令和6年7月5日（金）にお集まりいただき、「浜田市行財政改革実施計画 令和5年度実績及び令和6年度計画（案）」を議題とさせていただきました。「浜田市行財政改革実施計画 令和5年度実績及び令和6年度計画（案）」につきましては、推進委員会でいただいたご意見等を踏まえ、8月に策定し、公表しております。</p> <p>本日は、議題を1件予定しております。毎年進捗状況をご協議いただいております「浜田市第2期公共施設再配置実施計画令和6年度別冊について」報告させていただきます。</p> <p>会議時間は、最大で1時間30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以降の議事進行は、光延会長にお願いいたします。</p>
2 議題 (1) 浜田市行財政改革実施計画 令和5年度実績及び令和6年度計画について	
光延会長	<p>それでは、協議事項(1)に移ります。</p> <p>「浜田市行財政改革実施計画 令和5年度実績及び令和6年度計画」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1及び参考資料1、参考資料2について説明)
光延会長	それでは、委員の皆さまからご意見、ご質問をいただきたいと思っておりますので発言される方は挙手をお願いします。
藤原委員	資料1の6ページ以降にある施設別計画に施設別方針が記されていますが、その中の統廃合と複合化には、具体的な違いはあるのでしょうか。
事務局	複合化は、1つの施設に異なる機能の施設が集約することで、統廃合は、同じ機能の施設が1つに集約することと整理しています。
高橋委員	<p>資料1の3ページにある進捗状況まとめにある実績の達成率が低いのですが、何が原因で、今後どのように改善していくのか、改善策や努力されていることはありますかでしょうか。</p> <p>資料1の6ページ以降の施設別計画にある方針で、耐用年数経過後に廃止という施設が多くあり、耐用年数までかなり先の施設が多く感じます。耐用年数に達する前に廃止といった考えなどはあるのか、2点質問に対する回答をお願いします。</p>
事務局	<p>1点目の達成率に関するご指摘ですが、冒頭の総括でご説明しました既に削減が確定している雇用促進住宅や雲雀丘小学校などの大きな効果が出るものが来年度の実績として反映されて参ります。このことが令和5年度末時点では達成率が低いことの要因だと認識いただければと思います。なお、延床面積について、（大きな効果が反映された場合は、）現計画ベースでの見込みとなりますが、計画対比で約8割が達成されるものと考えています。</p> <p>2点目の耐用年数経過後の廃止については、毎年、進捗管理してローリングをかけておりますので、それぞれ施設の利用状況等を踏まえ、前倒しで廃止が検</p>

	<p>討できるものがあれば見直していければと考えております。</p>
佐々木委員	<p>美又温泉国民保養センターの方針が廃止となっており、建物やロッカー等も古くなり老朽化は進んでいます。このまま廃止ではなく、なるべく残すような方法を検討してほしいと思います。</p>
金城支所長	<p>美又温泉国民保養センターは、昭和44年度に建築した施設であり、施設の老朽化や耐震強度が少ないことは課題だと認識しております。改修等を行うには費用が少なからず掛かるため解体撤去を行い、当該施設の敷地内に美又温泉各旅館の外湯を兼ねた日帰り入浴施設の建設を計画しています。</p> <p>この施設については、令和7年度から建設に着手し、令和8年12月にオープンを目指して進めております。現在は建設に向けた詳細設計を進めており、来年3月頃には皆様にお知らせできるよう準備している状況です。</p> <p>現在の保養センターについては、この施設の建設に伴い解体撤去を行い、跡地は駐車場と商業用地として整備することを計画しています。</p> <p>この商業用地において、民間事業者が飲食店や売店等の整備や経営を行うことにより、温泉施設を中心とした地域の活性化を促進していきます。</p>
宮本委員	<p>13ページ、14ページにある学校関係の施設について、前回の推進委員会でもご質問させていただきましたが、私のやっているボランティア活動でも学校関係の方と関わらせていただいております。私たちが家庭科室などを利用する際に、夏場近くは毎年暑く、エアコンのない部屋を使うことは厳しい状況です。</p> <p>また、学校にある蛍光灯のLED化について管理状況や照明について、学校の関係者からも意見を伺っており、実際に私自身も現場を見たりしております。</p> <p>昔と違い、現代の子ども達は目を酷使している時代でもあるので、働き方改革という言葉がありますが、時間だけでなく、しっかりとした照明で勉強のできる環境にも配慮するべきだと思います。</p> <p>前回の推進委員会では、LED化するまでに長期的な計画になると聞いており、全学校を整理するまでに金額もかかるのですぐには難しいと聞いておりますが、それでも私は先駆けてやるべきだと考えております。そのLED化の進捗状況をお聞きしたいと思いご質問させていただきました。</p>
教育部長	<p>照明については、定期的に検査しており、照度に問題があればその都度改修しているため、必要な照度を確保できていると認識しております。蛍光灯のLED化については、まとめて全てを変更することは難しいですが、段階的にできるよう計画しているところです。</p> <p>エアコン設置については、普通教室は進んでおりますが、特別教室はほとんどが整備できていない状況です。特別教室にも順次、計画的に設置できるよう今年度は設計しており、各学校に希望を伺った上で優先順位を定めて進めていくよう考えております。</p>
宮本委員	<p>考えておりますというのは、言葉では分かりますが、どこを先決とするかは、しっかりと考えるべきではないかと思っております。私も色々な学校で要望を出されていることは間接的には聞いておりますので、子ども達の環境についてはこれからも考えていただきたいと思っております。</p>

教育部長	令和6年度当初予算のところ、特別教室エアコン整備事業という事業を新たに新設しております。今年度については、実施設計を委託しており、令和8年度に向けて設計及び工事を小学校9校、中学校6校で実施する予定で進めております。
佐々木委員	不燃物ごみ処理場に伺った際に、いただいたパンフレットに前市長の挨拶文が掲載されており、現市長のものに更新した方がよいと思うのですが、変えることはできるのでしょうか。
市民生活部長	ご指摘いただいたパンフレットは、埋立処分場が竣工された際に作成したもので施設概要等をご案内する資料となっております。市長は代わられておりますが、施設の説明部分については変更がないため、この資料をもって説明をさせていただいているところです。新たに施設が変更等する場合には挨拶部分も見直したいと考えております。
光延会長	時間もありません、せつかなので、委員の皆様方から一言ずつご意見を伺いたいと思います。ではまず久保田委員から何かありますでしょうか。
久保田委員	5ページの令和6年度以降の取組予定にある項番14から26は計画どおり、実施されており、順調に行財政改革が進んでいるといった認識でよろしいでしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。
久保田委員	この行財政改革は非常に大切なことだと思っており、施設も大切ですが、気になっているのが色んな形での補助金です。様々な事業に対して適切に利用され、実行されているかどうかの検証も必要だと思っており、国あるいは県、そして市単独のものもありますが、その検証がきちんとされているかどうかお聞きしたいと思います。
総務部長	市でも様々な補助金を支出しており、行革内では市全体をチェックしていませんが、それぞれの担当部署で、年度末支出等が予定どおりに支出されたか、適切に補助金が執行されたどうかは確認されております。
坪倉委員	スポーツ施設の中で、例えば浜田市陸上競技場や野球場が統廃合とありますが、ここでいう統廃合はどういうことを示しているのか教えていただければと思います。
教育部長	方針としては統廃合となっておりますが、現状としては中々難しいと思っております。この計画とは別にスポーツ施設の再配置計画もありますが、難しい状況のため、より具体的な方針・内容に見直していきたいと考えております。
坪倉委員	例えば、旭など他にも陸上競技場があるので、同じ競技場と統合するような使い方のイメージでよいでしょうか。
教育部長	おっしゃるとおりです。
坪倉委員	細かい質問かもしれませんが、陸上競技場の周りを歩いたりしながら見ていると、陸上競技場のトラックがより老朽化しているように感じており、改修される予定はないのでしょうか。三浦選手も輩出された場所でもあるので、個人的には陸上競技場は綺麗にされているといいなと思います。
教育部長	陸上競技場は、公認の検査タイミング等で問題があれば改修を今までやって

	<p>きております。本質的には全天候型のトラックにできればと思っておりますが、費用面や元々底地が沼地だったこともあり、地盤が軟弱で沈下が起こることもあり、どの程度お金をかけるべきか、費用対効果は出るのか等、長年の懸案事項であると思っております。</p> <p>どう進めるべきか中々結論は出ませんが、どのような形での整理が最善かは引き続き検討していきたいと考えております。</p>
坪倉委員	<p>この会議に出席させていただいて改めて合併後にここまで多くの公共施設があるということに驚いているのが率直な感想です。</p> <p>この施設を維持管理されていく浜田市には大変ご苦労もあるかと察するところです。その中で今後も人口が減少していき、必要な施設、そうでない施設が出てくると思うので、例えば民間事業者にアイデアを募り、様々な方法で活用してもらおうといったことも考えていくべきではないかと思えます。</p>
総務部長	<p>公共施設の利活用について、いろんな視点を取り入れていくことは大切だと思います。</p> <p>現状は行政のルールで、指定管理が中心となっていますが、委員がおっしゃったように、完全に民間となると、普通財産化して住民の方のご理解ということが大切になってくると思います。</p> <p>いろんなやり方で有効に活用できる部分を活用していく、需要がないものについては整理していくといった、いろんな視点からの整理はより大事になってくると思っております。</p>
小松原委員	<p>先ほども話にあった統廃合ですが、逆に不便を感じる場面があり、住民の意見も十分聞き入れて配慮してやっていただきたいと思っております。</p> <p>例えば、弥栄の保育園が安城と杵東にありましたが、統廃合して1つの保育園になっております。そうすると、奥さんが家業されておられる方は送り迎えが出来ますが、そうでない方は距離もあり非常に困難な状態となっています。</p> <p>その為、経費削減という意味で統廃合は分かりますが、ある程度住民の意見を重視していただいた上で、可能なものは統廃合していただきたいと思えます。</p>
副市長	<p>小松原委員がおっしゃったように、当然統廃合するという事は地域の皆さん、住民の皆さんの利便性を落とさないように、市としても取り組んでおります。</p> <p>一方で、維持管理費がかかるということで、参考資料1に書いておりますように、浜田市の公共施設削減目標は3割削減としておりまして、現在は約38%で何とか目標をクリアしている状況です。これは維持費や改修、建て替え費用を考えたときにこのような目標としております。</p> <p>ただ弥栄の保育園については、民間の社会福祉法人が運営しており、市が統合など、どうこうすることができないものとなります。安城と杵東がどちらも同じ法人がやっておられて、子供たちが減っていき保育園の運営が厳しいという理由で統合されたと聞いております。</p> <p>その為、この件についてはなかなか市が維持するためにお金を出すということができない状況です。</p>

	<p>例えば、波佐の保育園も廃止の動きですが、これも少子化の中でやむを得ないことが理由です。幼稚園1園は公立ですので市が管理しておりますが、それ以外は民間の法人だということをご理解いただければと思います。</p> <p>ただ、安城の保育園の跡地については市が公園として今整備するように地域の声を聞いて、有効利用しようとしておりますので、そのような色んな使い方をして、地域の皆さんのご不便がなるべくないように、民間のことと言いつつも、市も一緒になって関わるといった考えでおります。</p>
中島委員	<p>サンビレッジ浜田については、長年検討が進んでおり、そろそろ結論が出てもいいのではないかと思います。</p>
教育部長	<p>具体的にどのように、こういった整備をするかは来年度のところで、より具体的な計画を作成して方向性を示していきたいと考えております。</p>
足立委員	<p>浜田市の公共施設配置計画も、当然財源ベースでいろいろお考えの上で3割カットとしていると思いますが、浜田市が考えている人口減少のスピードと実際の日本の人口減少のスピードは、明らかに違うように感じています。</p> <p>11月の出生数は21人だったと思いますが、令和6年度の出生数は、このまま予測でいくと、昨年度を下回った120人から230人程度になるのではなかろうかと個人的に推測をしています。</p> <p>それを考えたときに、この公共施設再配置計画にある学校等の統廃合を考えていっても、果たして現計画で、今の人口減少スピードが本当にマッチングしているのかどうかというところを常に考えながら検討や実施されているのでしょうか。公共施設再配置計画は現状に応じた人口ベースに合わせたものでなければならないと思いますが、考えを教えてください。</p>
教育長	<p>公共施設の割合から見ると学校関係が30%を超えるという一番大きな面積を占めておりますので、今後についてはしっかり考えていかないといけない問題だと思っております。</p> <p>ご指摘のように、小中学校に在籍する学年で、今の中学3年生でも350人から400人の生徒がいますが、去年生まれた子どもは250人まで減っており、この5・6年の間で生まれてくる子どもが4割も減っている状況がございます。</p> <p>そうした中で、子ども達にとっても学校の児童生徒数が減っていけば、教育的にもある程度まとまった規模の中で育ていくということが望ましい姿だと思っておりますので、施設ということだけでなく、教育環境を考えたときに、統廃合に向けての議論はスピード感を持ってやっていく必要があるかと思っております。</p> <p>当然統廃合については、学校の統合再編計画を作成し、その中で明らかにしていきます。現時点で一番新しい計画は、令和4年度に作成されたもので、例えば、第四中学校を統合する、雲雀丘小学校を統合する、石見小学校については、建て替えるというような方向性を出しております。</p> <p>この計画は概ね10年に1回ぐらいで更新していますが、このスピード感では現状に合っていないと感じておりますので、スピード感を持って取り組みを進めていこうと考えているところで、当然そのことが、公共施設配置計画にも大き</p>

	<p>く関わってくるということではないか思っております。</p>
足立委員	<p>やはりスピード感を持って取り組んでいただきたいと思っております。</p> <p>浜田市の人口減少スピードは、想像を絶するようなスピードで進んでおり、合併時は6万2,000人程度でしたが、現在は4万8,000人程度です。</p> <p>一方で益田市は、浜田市の合併時との人口比は1万人程度あったと思うのですが、現在の人口比は7,000人を切ったぐらいです。もちろん益田市の人口も減少していますが、益田市に行くとお昼や夜ごはんを食べるところが多く、残念ながら浜田市と比較すると益田市の方が、いろんなお店が出始めている印象です。また益田市には近いうちに新しいチェーン店が出てくるというお話も聞いています。</p> <p>そう考えたときに、浜田に住んでよかったなと思えるようなまちづくりをこの行財政改革でも当然進めなきゃいけないですが、一方で総合振興計画も含めたまちづくりもしっかりと引き続きやっていってほしいなと思っております。</p>
光延委員	<p>地域政策部長には、まちづくりの関係で、産業経済部長には、産業経済の関係でコメントをいただきたいと思えます。</p>
地域政策部長	<p>先ほど総合振興計画に関して、少し触れていただきましたが、住んでよかったと思えるようなまちづくりというのは、当然我々が目指すところでございます。</p> <p>先ほど浜田市と益田市の違いでお店の話も出ましたが、やはり若者や大学生さんからは委員がおっしゃっていた内容は多数聞こえてくるところでございます。民間の企業進出は中々難しいですが、単純にお店だけでなく、様々な環境整備が必要かと思っております。</p> <p>若者の意見をこれからもしっかりと聞いて、今後も様々な整備や施策に生かしていけるよう努めていきたいと思っております。</p>
光延委員	<p>産業経済部長にお話しいただく前に、若者が来ておりますので、意見を伺ってみようと思えますが、いかがでしょうか。</p>
池田委員	<p>学生の立場から意見を申し上げます。よく学生同士で話していると、浜田の家賃が高いという意見を多く聞きます。</p> <p>需要と供給の観点からの妥当なのかと思えますが、やはり広島を見ると、同じ部屋の広さでも1万円も安いので、家賃の見直しはできないのでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>民間アパートの家賃について、浜田市で何か対応するといったことは難しいかと思えます。</p> <p>また、先ほどあった浜田市でお店が少ないというのも、土地が高いといった理由がございます。浜田市の地形からして、海からすぐ山があり、平地も少ないとなると、どうしても単価が上がってしまいます。</p> <p>そのような理由から、チェーン店などは立地条件を見ますので、どうしても安価に土地を取得できるところに行ってしまう傾向があるかと思えます。</p> <p>民間アパートの家賃が割高になっているというのは我々も実感をしているところで、家賃＝生活費にかかってくると思えます。何らかの支援ができないか以前から考えておりますが、なかなか実現できていないところでござい</p>

	<p>すが、何とかそういったところも対応できるよう考えていきたいと思ひます。</p>
産業経済部長	<p>足立委員からありましたとおり、浜田市に飲食店が少なく、益田市には大手チェーン店が多いといった若者からの声を聞きます。</p> <p>先ほど地域政策部長が言われましたように、こういった大手チェーン店が浜田市に進出しようと考えると、採算性を重視されますので、なかなか浜田市の規模では厳しいという状況です。</p> <p>また、浜田市は平地が少ないというような状況もありますので、大手チェーン店に誘致することも難しい状況です。</p> <p>ただ、そういったいろんな意見がございますので、今年度、浜田駅前周辺で、にぎわい調査をしており、こういった調査をもとに、これから駅前周辺望ましい整備の方向性について検討して市民の皆さんにお示ししたいと考えております。</p>
長谷川委員	<p>学校施設の複合化についてお聞きします。</p> <p>元々が教育施設で、そこに他の機能や複合化というと、具体的にどう複合化するのかお聞きしたいです。</p> <p>また、段々と子供たちが減っていく少子化の中で、どのような形で複合化を考えておられるかお聞きしたいと思ひます。</p>
教育部長	<p>これから将来的にわたって少子化が進むと、学校を建てた後にそれ以降も子供が減っていくため、施設のあり方について考える必要があります。</p> <p>複合化について、やはり学校というのは、今も避難所としても使用されていますが、地域の方が使えるような集会所などの会議室として使えるような機能も持たした上で、別々に建てるのではなく、1つの施設の中で、学校としての機能と地域の方が使えるような機能を加えたコンパクトな学校、建物を将来的には検討していく必要があると考えています。</p>
教育長	<p>具体的に言うと、例えば、小学校の中に放課後児童クラブを併設、周りにまちづくりセンターのような機能がないところは、皆さんが集える場を一緒に作るなど、その地域にどういう施設があるか、その施設の老朽具合などを考えながら状況に応じて、複合化を目指しながら、単独の学校施設ではないやり方も考えていく必要があると思ひています。</p> <p>また、状況によっては、同じ小学校同士ではなく、小学校と中学校を一緒にするなど、今後の効果を考えて、具体的にどうしていくかは、個々に考えていくことにはなろうかと思ひています。</p> <p>学校の建て替えをするのであれば、単独よりは、その地域に本当に必要な機能のある施設にするなど、研究して方向性を定めていく必要があるかと思ひます。</p>
大屋委員	<p>美又温泉日帰り入浴施設のこと、この前、地域協議会でも同じことを聞いたと思ひますが、施設としては非常に立派なものができるようになっております。ただ、施設内に食事場所がないのが欠点かなというところが1つ気になっております。</p> <p>地域協議会での説明を聞くと、全て民間事業者に任すような形だと、私は受</p>

	<p>け取りました。入浴後に、少し休もうかと思っても食事場所がないのは、非常に気になるので、改めてもう一度、ご説明いただければありがたいと思います。</p>
金城支所長	<p>先ほど言われたように地域協議会でも、同様のご質問をいただいております。それ以前からも飲食関係についてはご心配いただいているところです。</p> <p>ただ、食事場所のある施設を作っとうまくいった事例が中々ないことや、民間事業者に様々なノウハウをいただいておりますが、施設の中に食事場所を作るといったことは現時点では考えておりません。</p> <p>しかし、国民保養センターを解体して駐車場とした近場に、お店が出店しやすいよう排水給水がすぐできる区画を用意しまして、その区画を皆さんに活用してもらおうと考えております。立派な建物を建てるのではなく、コンテナハウスやキッチンカーなどの形で、お食事やカフェを出店していただき、くつろいでいただけたらと思い、現在整備をしていこうと考えております。</p> <p>ご心配のように温泉はいいけど、他には何もないとならないよう、いろんな方から知恵を拝借しながら、これまで以上にぎわいのあるエリアとなるよう、担当課も含めて市として、しっかり取り組んでいきたいと考えております。</p>
佐々木委員	<p>石見神楽について、石見神楽を教えられる人は地域に多くおられるので、その方々を表彰できるような制度はありますか。</p> <p>また、石見神楽をPRできるようなお店について紹介したりすることはできないのでしょうか。</p>
教育長	<p>石見神楽は浜田市にとって大切な文化ですから、これをいかに後世に伝承していくかという議論を、民間の専門検討委員会などを開催して実施し、提言書もいただきました。</p> <p>その中に石見神楽の表彰ということはないですが、市民表彰制度など地域文化に貢献していただいた方を表彰する制度もありますし、いろいろな既存制度でできることはあろうかと思っているので、先ほどいただいた意見を参考にさせていただきますたいと思っています。</p> <p>それと、例えばお店で神楽面やいろいろな関連グッズを展示している場所を紹介できないかとの事ですが、どのようなやり方ができるのか、やはり神楽が本当にこの浜田に根づいた大切なものだということを、市民の皆さんに共感ができるような仕掛けや周知を行っていくことが大事だと思っているので、その辺りにはしっかり力を入れて進めていきたいと考えています。</p>
小池委員	<p>すごく魅力的なポテンシャルがある地域だと思いますので、そこをどう發揮していくのかという観点から、今ある施設をどう活用していくのがすごく大事だと感じました。</p> <p>今あるハコを起点にしてどうするかという発想というよりは、今、何が必要で、どういうものがあると、よりその今あるものが生きてくるのかといった観点から考え、それをハコにどう使っていくのか、住民の皆さん方のニーズを起点にして、スクラップアンドビルドをやっていくことが大切だと思っています。</p> <p>その考えでやっていけば、近隣の自治体にも勝てるようなものができていく</p>

	<p>のかなと今日の会議を聞いていて感じました。</p> <p>言うこと自体は簡単ですが、アイデアをどう募っていき、それを施設に上手くつなげていくかの仕掛け、仕組みをどう作っていくのかがすごく大事なのかなと思いました。</p> <p>特に先ほど少子化で小学校に関する話もありましたが、その小学校をどうやって次の新しい価値創造に向けてやっていくのか、それをどうやってアイデアを募っていくのか、それをどう民間が担っていくのか、1年ではなかなか考えられないものだと思うので、中長期でやっていく仕組みがあるとすごくいいのかなと思いました。</p>
小松原委員	<p>石見神楽について意見ですが、実は私も石見神楽をやっており、自分達がやっていた頃は途絶えそうでしたが、ある時から青年団が一遍に入って、そのうちにブームとなり、今の神楽があると思っています。</p> <p>せっかく世界遺産というような形で、評価を上げていただいておりますが、最近の神楽はショーのような神楽になってしまっており、本来の伝統を引き継いだものではないように感じます。</p> <p>そういった台本にもないような神楽がどんどん出てきて、それが本当に石見神楽として、遺産となった神楽なのか、本来の神楽とは全然違う方向へ進んでいるのではないかとといった懸念があります。</p> <p>どこかの段階でラインを決めておかないと、本当の伝統芸能とは違った方向に進んでいそうな気がしています。本来、お宮でやっていたものが、ステージとなり、そこからいろんなイベント会場でやり、ショーのような神楽になってしまっています。従来からやっていた神楽が遺産となったので、その神楽を伸ばしていかないと長続きしないのではと心配しています。</p>
教育長	<p>石見神楽については、元々が神事として神職の方が行われていたものが、神職演舞禁止令が出たことにより村人の舞に代わっていったという変遷があると思います。それからさらに戦時中には若い人たちがどんどん戦争に駆り出されて、残った人だけで何とか守っていかねばならなかったといったこの長い間に大きな変遷の過程があったかと思っています。</p> <p>そうした過程の中で、いろいろと形を変えながら続いてきたといった経緯があり、例えば衣装でも、昔は布で作っていた蛇胴が、和紙を使用した立体的なものになったり、面も木彫から軽い和紙になったり、演目も新しいものが出てきたりといろいろな形で変化がありました。</p> <p>神楽はそういう文化性と大衆性という両面があるのでなかなか難しいですが、個人的には本来ある、変えてはいけないものも守りながら、変化も受け入れていった歴史も大事にして、その両方を大切に継承していき、その変化が風土と馴染んでまた文化になっていくと思っています。</p> <p>先ほどのご指摘どおりですが、その両面にとっても、この神楽をどう伝えていくかは、真剣に考えていかないといけないと思っています。その上で変えてはいけないものが何なのかということもしっかり調査研究し、それをきちんとお示しすることも大事なことだと思っています。</p>

	<p>教育委員会としてはそのような調査研究についてももしっかり進めていきたいと思っています。</p>
鈴木副会長	<p>今回の資料を拝見して、また委員の皆様のご意見をお聞きして、今回の行革が費用対効果の観点で進められるかという点が非常に気になりました。</p> <p>地方自治法の第2条には、最小の費用で最大の効果を上げるようにしなければならないと書かれております。これは地方自治の原則だと思いますけれども、行革に関しても、その費用対効果の観点から、削減対象を絞っていくことが非常に重要だと思っております。</p> <p>今までのお話と副市長からも利便性を下げないような形で、行革を進められているということはお話でわかったのですが、今回の資料を拝見してみますと、例えば、まちづくりセンターに関して評価検証されているといったことや、サンビレッジ浜田でも調査をされていることが書かれていますが、どういった調査で、この廃止などをしたときにどれだけ利便性を下げることになるのかわかるような形になっておりませんでした。</p> <p>例えば、イギリスだと、その費用対効果を関連にあって、自己評価だけでなく事前評価もやった上で、利用者の満足度で「満足しているのか」、「どちらかといえば満足」というような順序尺度ではなく、1億円の費用をかけて、1億5000万の効果を生み出すからこの事業をやりましょうといった方法でやっております。</p> <p>逆に行革の場合は、1億円を減らすとなると廃止をすれば、延床面積が減り、費用が減るのが当たり前なので、1億円減らすことが出来るが、その時にどれだけ効果が減らないのか、利便性は損なわれないのかわかるということが重要だと思います。</p> <p>もちろん行革なので、費用を大きく削減することも大事だと思いますが、廃止する場合、利便性は必ず下がりますし、廃止だけでなく複合化とか、もちろん民間委託や地元譲渡などもあります。その用途を変えた場合の利便性はもちろん下がる可能性があるわけですから、何かそこにもう少し配慮した内容が記載されていると、おそらく委員や住民の皆様のご不安を払拭することができるのではないかと思います。</p>
光延会長	<p>時間となりましたので、議題事項について終了致します。</p>
2 その他	
光延会長	<p>それでは、次にその他ということで事務局から連絡等をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは今後の予定をご連絡させていただきます。</p> <p>次回の会議は7月頃に開催を予定しており、「浜田市行財政改革実施計画 令和6年度実績及び令和7年度計画」についてご審議いただくこととしております。開催日時等は、改めて文書にてご案内させていただきますので、よろしく申し上げます。以上です。</p>
光延会長	<p>それでは、最後に副市長から挨拶をいただきます。</p>
砂川副市長	<p>皆さん本当に長時間にわたり、いろんな角度でご意見、ご質問いただきましてありがとうございます。それぞれ個別のご質問については、担当、部長等</p>

がお答えしましたが、そこに少し補足をしながらお話させていただきます。

まず、学校の関係ですが、大変重要だと思っております。エアコンや照明だけでなく、通学路の安全対策など、子どもの安全安心を確保して、しっかり勉強していただくための施設が必要だということで、これまで以上にふるさと納税を活用しており、通学路の安全点検、整備、学校の改修等に対してこれまで以上の予算をかけております。

その中で特別教室のエアコン設置についても、しっかりと検討してまいりたいと考えております。また今回、照明についてもご意見いただきました。これも生徒の方たちがしっかり勉強できる環境を進めて参りたいと思っておりますのでございます。

次に補助金のお話ですが、浜田市はいろんな補助金を出しており、全ての補助金に該当する訳ではないですが、基本的には3年を期限とし、3年間限定でやって、その補助金が必要かどうか1度検証して、必要であれば延長するといった方法で実施しております。

民間活用については、公共施設を民間の皆さんと一緒に活用していきたいと思っており、具体的に言いますと、特に収益の上がる施設で、千畳苑は民間譲渡ということで、すでに公募しており、年明けにはその受託者が今年度中には決まる予定です。基本的には今の宿泊施設を維持していただくという条件で、民間にお渡しする予定です。他にもそのような方向で進めていくことを考えており、民間の方にやっていただけるような公共施設は、指定管理ではなく譲渡等により、機能を維持していただき、なるべく公共施設を減らしていくといった取り組みをしております。

ただ、商業施設のこともいろんな方からご意見いただいております。益田市にはいろんな施設ができるが、浜田市には中々できないといった話があります。先ほど、部長も申しました駅周辺の君市踏切が現在、工事中で通行止めになっておりますが、来年3月には通れるようになり、駅北駅南がもっと動きがよくなると思います。駅前には地元の方がやっておられたお店が閉店されて解体された空き地もありますので、こういった場所をぜひ民間の方に活用していただきたいと思っております。

また、三桜酒造跡地も土地開発公社が購入して拠点となるものを整備したり、まちなか交流プラザというのも作り、学生の方にもご利用いただくなど、施設を活用しながら民間の方と一緒に駅周辺を中心にまちづくりをしていきたいと思っております。駅周辺にはそういった場所や、駐車場等となっている場所もたくさんあるので、何とか商業施設ができて、集っていただければと思っております。

それから最後にいただいた検証評価は確かに、おっしゃる通りだと思います。

個別にはやっていますが、全体を網羅するといった行革の公共施設のところでは載せにくい部分があるので、少しその辺を工夫させていただきたいと思っております。

いずれにいたしましても足立委員さんからありましたように、浜田市の人口

	<p>減少が想定以上のスピードで進んでいます。これに対する対応が最も重要なことだと思っております。</p> <p>そのためにも行財政改革をすることで予算を捻出して、皆さんの暮らしやすいまちづくりに充当していきたいと思っております。</p> <p>また、皆様のご意見をしっかりと伺いながら、市政を推進して参りたいと思っております。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
光延会長	<p>以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

(11時30分閉会 所要時間 1時間30分)